

成長は無量大山

実り多い2学期を

中学校生活最後の2学期が始まり、およそ3週間が過ぎました。川島中高祭では、夏休みから学級で準備を進め、それぞれの学級で工夫を凝らし、文化祭や体育祭を成功させることができました。この学年の仲間と心をつなげて行う行事の一つひとつが終わっていきます。思い出に残る中学校生活とするために、友だちや学級、学年で力を合わせて取り組んでいきましょう。

2学期学級役員

行事の多い2学期です。学級役員の人たちを中心にみんなで協力して全力で取り組んでいきましょう。

3年1組 委員長 乗島未来

僕は、2学期の委員長になり、クラスみんなから頼られるようにがんばりたいです。そのためには、委員長として責任感をもって行動したり、クラスみんなが困った時には自分が率先して助けたりして、みんなの役にたきたいです。1学期の委員長・副委員長は、みんなのために様々な行動をして、クラスに良い雰囲気を作っていたので、僕も彼らを参考にして良い雰囲気を保ちたいです。そして仕上げの3学期の委員長につないでいきます。

3年1組 副委員長 吉本愛結花

私は、クラスメイトが困っている時、クラス全体で助け合いができる組をつくりたいです。そのために私は、自分から積極的に行動します。具体的には、配布物がたくさんある時、一緒に配ります。給食当番で休んでいるクラスメイトがいると、代わりに担当します。クラス全体に助け合いの輪を広げ、級友との仲をより深めていきたいです。

3年2組 委員長 角野遙斗

2学期にがんばりたいことの1つめは、1学期委員長の正木君のように朝登校したらしっかり挨拶をすることです。ぼくは挨拶をする時と会釈で済ませる時があるので、全員に対して挨拶をしていきたいです。2つめは、相手の話をしっかり聞くことです。ぼくは結論をすぐ出したいので、最後まで聞かずに大ざっぱに聞いて答えてしまうので、最後まで聞くことを意識したいです。

3年2組 副委員長 石山陽菜

1人ひとりが気遣いのできる32HRを、さらにあたたかい言葉があふれる場にしていきたいです。そのためにクラスメイトのよい言葉や行動を見つけて認め、共有することを私から始めます。恥ずかしがって行動しない自分が変わるチャンスなので一生懸命取り組みます。誰かがすると思って逃げる自分をやめ、自分から動いて責任を果たしていきます。



川島中高祭は自分にとって何だったか

(8行日記より一部抜粋)

○みんなと協力し合い、もっといいクラスに成長させてくれるものでした。2年生の時もがんばったけど、去年よりはるかに自分たちの成長を感じました。また、中学校の最高学年として後輩との友好関係も築くことができ、すばらしい川島中高祭になったと思います。4年生になってもがんばります。

○本当に貴重な体験だったと思います。周りの中学校や高校は中高で一緒にすることはありません。でも私たちは高校生と関わることができてうれしかったし、楽しかったです。文化祭では準備からクラスの子たちと協力できたし、体育祭でもやりきることができました。高校生になっても中学校3年間の仲間と協力した力を発揮してがんばりたいです。

○中高祭では、友だちと協力することがどれだけ大切かを知りました。文化祭では32HRでクイズがあり、難しいじを引いてしまいました。最初は全然わかりませんでした。でも途中からヒントをもらい友だちと考えると、ギリギリ

りでしたが解けました。体育祭の綱引きでは、21HRと対戦しましたが耐えて耐えて勝つことができました。そして片付けも分担して素早く終わらせることができ、最後まで一致団結していたように思います。

○中高祭は私にとって、仲間と力を合わせ協力することができた行事でした。特に綱引きでは、1組に勝ち優勝できました。今年の綱引きのルールはいつもと違い、少しとまどったけどクラスで団結できました。「台風の目」では、「しゃがんで！」や、「飛んで！」などの声かけができていたので、息を合わせて競技をすることができました。団体競技で勝ったのは、32HRのみんな1人1人のおかげだと思います。もう32HRで体育祭はできないけれど、思い出に残るよいものになったと思います。

○中高祭は協力・応援する楽しさや大切さを学んだものでした。文化祭の準備では風船の数を巡って意見が分かれたり、当日のエリア担当等でたいへんなこともありました。でも話し合って折り合いをつける努力をしたり、休んでいる人の代わりに「私がやるよ」と、自分が遊びに行く時間を削って手伝ってくれたりした人のおかげで、みんなが楽しむことができた文化祭でした。また、体育祭では、テントで「がんばってな」の言葉がたくさんあふれていました。1人が応援の声をかけると、それが次の人に連鎖して、最後には高校の先輩方、本来ライバルである31HRのみんなや後輩にまで応援の輪が広がっていました。これからの残り少ない中学校生活で、協力と応援の輪を広めることができるよう積極的に取り組みます。

○中高祭は自分にとって挑戦でした。文化祭の準備で私は、マネージャーという役を任せられました。最初は先生から頼まれた仕事をするだけで、今振り返ると「何を考えていたんだ」と腹がたちます。案の定、本番まであと数日というのに、全く出し物が完成する気配がありません。心を入れ替え、母にサポートしてもらいながら、クラスメイトに仕事を振り分けたりアイデアを出したりすることに一生懸命取り組みました。与えられている役割の重みに気づいた時から、全員が自分のできることを探して生き生きと作業し始めたように思います。プレッシャーがあり、精神的にも大変だったけど、また大きく成長することができました。マネージャーという挑戦をくれた先生に感謝したいです。

